とうべつ 議会だより

手にとって good（ぐ〜っと） 身近に

WEB 版はこちら

No. 227
令和8年11月1日発行

CONTENTS 9月定例会

決算審査　事業から見る当別の今 …p. 2
道路、地域公共交通、高齢者のくらしに注目

こんな議案がありました！委員会まとめレポート …p. 8
2 つの常任委員会で調査した内容をレポート

4 人の議員が一般質問！当別のここが聞きたい …p. 11
暮らしや町のことを町長・教育長に質問

議会の動きをまとめて紹介 …p. 15
とべっこ議場ツアー、議会閉会中の活動、議案の審議結果　など



とべっこ議場ツアーを開催しました（7 月 30 日　議場にて）

北海道当別町議会だより　編集 / 議会広報特別委員会　編集・発行責任者 / 議長　髙谷　茂

決算審査

令和７年度 予算は正しく使われたのか？
事業から見る当別の今

令和７年度に執行された予算は、第３回定例会までに整理され、議会で適正に使われたか審議しました。

決算の詳しい内容は、「広報とうべつ10月号」をご覧ください。

執行された主な新事業

●自治体情報システム標準化・共通化事業
●情報発信デジタル基盤構築事業
●帯状疱疹予防接種事業
●介護人材確保支援事業
●就労系事業所等通所交通費助成事業
●農業DX化推進事業
●林業専用道（規格相当）「本中小屋線」開設事業
●スマート林業機器導入事業
●歩道改修事業
●町道当別駅南北連絡線屋上防水改修事業
●除雪機械購入事業
●上下水道事業経営戦略改定業務
● GIGA スクール（1人1台端末）更新事業
●学校部活動地域展開推進事業
●とうべつ学園水泳プール改修工事

『適正な決算と認定』
～決算審査特別委員会報告～



決算審査特別委員会　インターネット動画配信

議会だよりに掲載していない質疑の様子が見られます。

１日目　質疑・回答

・議会費　・消防費
・総務費　・公債費
・職員費　・民生費

・民生費　・衛生費
・農林水産業費
・商工労働費

２日目　質疑・回答

・土木費
・災害復旧費
・教育費　・予備費

・一般会計歳入
・特別会計（国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス事業）
・事業会計（水道・下水道）
・総括質疑
・起草委員会設置

第３回定例会

令和８年第３回定例会は９月８日に開会し、町長から提出された議案11件、議員から提出された議案１件、請願・陳情９件について審議を行いました。

提出された議案は、内容を精査するため各委員会に付託され、内容等が適切か、審査を行いました。

⇒　委員会まとめレポートは p.8-p.9 へ！

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。
⇩

ここ見て！決算

特集 道路の修繕

身近な道路の安全性と快適性の向上を図るため、歩道の改修や砂利敷設、段差補修などを実施しました。ここでは、決算審査での主な質疑と、実際に施工された箇所を紹介します。

スウェーデン大通

スウェーデン大通の歩道では、インターロッキング※1の経年劣化により凹凸が生じ、歩行者の安全確保が課題となっていました。利用者からの要望も踏まえ、令和７年度から改修に着手し、計画的に整備を進めています。

土木費　歩道改修事業　1,000万円

Q：令和７年度の補修箇所は。

A：JR太美駅前からラーメン店までの区間を実施した。

Q：補修の全体の期間と区間は。

A：期間は５カ年で特に状態の悪い部分を直していく。この５カ年で太美駅前から道道112号線までの区間を実施する。

Q：インターロッキングではなく、維持管理が楽な工法を検討しては。

A：維持管理しやすい工法も提案したが、西当別連絡協議会との協議の中でインターロッキングが望ましいと意見があり、採用した。道道112号線より北の部分は、再度地域と協議し、検討する。

※1 インターロッキング…
コンクリートブロックを互いに噛み合わせる形状にし、レンガ調に組み合わせた舗装方法。

〈修繕前〉



〈修繕後〉



生活道路（私道）

令和７年度より、行政サービスの一環として、所有者より要望のあった生活道路（私道）の穴を砂利で補充しています。

土木費　砂利道路補修業務委託175万円

Q：町道に認定されていない生活道路の穴の補修状況と今後の整備方針を伺う。

A：生活道路は所有者管理だが、行政サービスの一環として穴に砂利を補充。令和７年度は要望のあった２路線で実施し、今後も同様に対応する。

Q：利用者の多い私道について、アスファルト補修などの拡充を検討できないか。

A：私道の管理責任は所有者にあるため、現在実施している砂利補充を超える補修やサービスは考えていない。

道路の維持管理

道路を安全に利用できる状態に保つための予算です。側溝の修理、マンホール周辺の段差解消など、道路の維持管理に活用されています。

土木費　道路維持工事費　1,200万円

Q：町道の排水ますやマンホール周辺に段差や損傷がある。昨年度の修繕実績と危険箇所の把握方法は。

A：個別の施設ごとの金額は整理していないが、道路維持費の工事請負費で約1,200万円を支出した。職員の巡回、住民通報、町内会要望を基に緊急性の高い箇所を修繕している。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

決算審査の流れ

決算書の作成

令和７年度は令和８年３月31日に終了。
会計管理者が決算書及び附属書類を作成し、町長へ提出します。

監査委員の審査

監査委員は町長から依頼を受けて、決算書や附属書類を審査し、決算に係る意見書を作成します。

議案の提出

町長は、決算書・監査委員の意見書・主要な施策の成果説明書を添付し、決算認定議案を町議会に提出します。

議案を詳しく審査するため、議員の提案により特別委員会を設置します。

特別委員会へ

決算審査特別委員会の委員は、担当部局等への詳細な質疑を行ったあと、決算を認定するか否かの採決を行います。

審査内容や意見、採決結果などをまとめた報告書を作成します。

議会の認定

委員長の報告や討論などを踏まえ、各決算議案を議決します。

「不認定」になったらどうなる？

不認定となっても、既に行われた収入・支出が無効になるわけではありません。

今回は全て**【原案認定】**

道の駅や伊達記念館など町内施設の管理業務

商工労働費 道の駅　増額補正の理由

当別町地域間交流拠点施設指定管理委託料 5,991万円

問 年度途中に、約151万円増額補正した道の駅指定管理業務について、増額理由とその効果を伺う。

北欧の風　道の駅とうべつ
（当別太774番地11）

答 増額分はIKEAポップアップストアに係る経費。開設後約４カ月で１日平均500人が来場し、道の駅各店舗の売り上げも前年度比で増加しており、一定の経済効果があったと認識している。

教育費 伊達記念館　業務委託内容は

伊達記念館管理業務 62万円

問 「伊達邸別館・当別伊達記念館」の管理業務の委託内容と、費用の内訳は。

伊達邸別館・当別伊達記念館
（元町105番地）

答 シルバー人材センターへ管理を委託している。開館期間（５月～10月）は土日祝日の施設管理、閉館期間（11月～３月）は巡回管理や除雪業務を実施している。

こども家庭センター相談室「ひらりルーム」

こども家庭センター「ひらり」とは…
町に居住するこどもやその家庭、妊産婦等の相談や困りごとに対応するセンターです。

●設置場所
総合保健福祉センター「ゆとろ」内（西町32番地2）
●相談窓口　まずはこちらへ！職員は２カ所に常駐！
- 子ども未来課 子育てサポート係
- 保健福祉課 健康推進係



「ひらりルーム」とは…
「ひらり」の専用相談室です。必要に応じて案内しています。

衛生費 ひらり　相談室設置工事

こども家庭センター相談室設置工事費 330万円

問 こども家庭センター「ひらり」の相談室設置工事の内容は。また、以前この相談室の前を通ったが、人のいる気配がなく、入ってよいのか分かりにくいように思う。具体的な活用方法を伺う。

答 「ゆとろ」の旧浴室休憩スペースにアルミパーテーションを設置し、床の改修や内装工事を行った。こども家庭センターの専用相談室として活用し、妊娠届出や各種相談にも対応している。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。 ⇩

ここ見て！決算

特集 地域公共交通

通勤や通学、買い物、通院など、日々の暮らしに欠かせない地域公共交通。当別町では、ふれあいバスや月形当別線（通称：とべーる号）の運行に加え、自動運転バスの実証実験やスクールバスの運行など、移動手段の確保に努めています。町民の暮らしを支える交通施策をご紹介します。

ふれあいバスとは

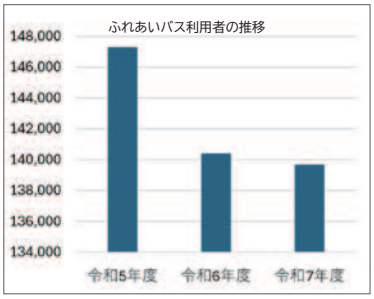
平成 23 年 4 月から本格運行を開始した当別町コミュニティバスのことです。

現在は「あいの里金沢線」「青山線」「市街地予約型線」「西当別道の駅線」の 4 路線を運行しており、町民の生活に欠かせない交通手段として確立されています。

総務費　当別町地域公共交通活性化協議会負担金　2,708 万円

Q：利用者数は前年度と比べてどうか。

A：令和 7 年度の利用者数は 13 万 9,663 人で、前年度と比べて 731 人減少している。




青色が特徴的なふれあいバス

とべーる号とは


当別町の「とべのすけ」と 月形町の「ベルデくん」が描かれた車体が特徴

JR 札沼線の北海道医療大学駅以北の廃止に伴い、令和 2 年 4 月から当別・月形間を運行している代替バスです。

月形町と共同で運行を支援しており、経費の一部には JR 北海道からの支援金を活用しています。

総務費　月形当別線運行事業　1,991 万円

Q：当初予算 2,160 万円に対し決算額が減少した理由は。

A：利用者が増えたことによる運賃収入増加と、車両更新費が当初見込みより安価だったことが主な理由である。

Q:利用者増加の要因は何か。

A：月形町の生徒が、札幌圏の高校へ進学するケースが増え、とべーる号と JR を利用した通学が増加している。

総務費　自動運転社会実装推進事業　7,000 万円

Q：不用額が大きく生じた要因は。

A：国の補助上限と補助率が大幅に引き下げられたため、事業規模を縮小して実施した。


自動運転バス　実証運行の様子

教育費　スクールバス運営費　7,893 万円

Q：利用児童生徒数と一人当たりの運行経費は。

A：利用者数は 203 人。その内訳は小学生が 163 人、中学生が 40 人である。一人当たりの運行経費は約 39 万円である。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。

利便性を高めるために

リモート相談窓口とは…
　町内主要施設（当別町役場、総合保健福祉センター「ゆとろ」、西当別支所）および札幌市役所から、オンラインで各種手続きや申請などの相談ができるサービスです。
　相談内容に応じてボタンをタッチするだけで担当職員に接続され、ビデオ通話ができます。



総務費　札幌市役所での使用状況

リモート接続窓口運用保守業務委託 77 万円

問　札幌市役所に設置されているリモート相談窓口の利用件数と、今後の方針は。

答　利用件数は、令和７年度中に１件であった。費用対効果を踏まえ、廃止する方向で調整している。

産後ケア事業　適切な議論と検討を

衛生費　どんな議論があったか

産後ケア事業 164 万円

問　令和８年度から宿泊・日帰り・訪問型の利用回数の見直しが行われたが、令和７年度にどのような議論や検証があったのか。

答　事業開始から４年間の利用実績を分析した結果、宿泊型はおおむね２回までの利用が多かった。事業所も増やし利用しやすい体制を整備しており、実績を踏まえて制度を見直している。

衛生費　利用者に必要な支援を

産後ケア事業 164 万円

問　利用者によって必要な支援は異なるため、宿泊・訪問などの回数制限は柔軟に見直すべきではないか。今後再検討する考えはあるか。

答　利用者の約４分の３が生後６カ月未満で利用しており、月齢によって訪問型や日帰り型の利用傾向も異なる。アンケート結果なども踏まえ、今後もより良い制度のあり方を検討していく。

学校で使われたタブレット等端末の更新

教育費　教職員用端末も更新？

GIGA スクール（１人１台端末）更新事業 5,517 万円

問　約 2,000 万円の不用額が発生した理由は。
また、更新対象には児童生徒用だけでなく教職員用端末も含まれていたのか。

答　主な要因は端末更新に係る入札差金。また、大学生による SAT※1 活用実績がなかったため、執行残となった。端末更新は児童生徒用タブレットが中心だが、教職員用、予備機も更新した。

教育費　端末の処分状況は

GIGA スクール（１人１台端末）更新事業 5,517 万円

問　更新後の旧端末の処分費用は計上されているのか。また、処分状況はどうなっているか。

答　処分費用は発生していない。端末内のデータはすべて消去済みであり、現在は、リサイクル可能なものと破棄処分するものの選別作業を進めている。

※1　SAT（スクールアシスタントティーチャー）…小中学校の授業等を補助し、学習や活動を支えるボランティア支援員のこと。

「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。⇩

ここ見て！決算

特集 高齢者のくらし

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、日常生活を支えるサービスが欠かせません。今回は、介護サービス事業（デイサービス・ホームヘルプサービス）と、当別町独自の事業である高齢者除雪サービス事業をご紹介します。

デイサービス・ヘルパー

「当別町デイサービスセンター」と「当別町ホームヘルパーステーション」はどちらも当別町が設置する事業所で、2つの事業所の運営に係る収入や支出は、一般会計とは別の「介護サービス事業特別会計」で管理しています。この２事業は、町が当別町社会福祉協議会に委託をし、運営しています。

デイサービス（通所介護）

通所介護施設で、食事や入浴、機能訓練などの支援を日帰りで受けられるサービスです。



ホームヘルプサービス（訪問介護）

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴や食事などの身体介護や、掃除や調理などの生活援助等を受けられるサービスです。



介護サービス事業特別会計

介護保険デイサービス事業　4,539 万円
介護保険ホームヘルプサービス事業　1,997 万円

Q：減額補正は利用者数が減っているという理解で良いか。

A：利用者数の減少によるものである。利用者数の減少により、登録ヘルパーの稼働などが減り、減額の補正予算を行った。

Q：昨年度の利用者の推移は。

A：ヘルパー利用は延べ回数が3,419 回。令和 6 年度比で 322 回減少している。デイサービスは延べ利用 4,113 回。令和 6 年度比で 537 回の減少である。

Q：デイサービス職員、ホームヘルパーは充足しているか。

A：ホームヘルパーは少し不足している状況である。一方、デイサービス職員は現在のところ必要人数を確保できている。

除雪サービス

当別町では毎年、除雪が困難な一人暮らし高齢者等で除雪の援助を受けられない世帯に対し、冬期間の生活路確保のための除雪サービスを提供しています。

Q：サービスを利用する 111 世帯のうち、当別地区と太美地区の内訳は。

A:当別地区 94 世帯、太美地区 17 世帯である。

Q：利用者からの苦情等の問題はあったか。

A：令和 7 年度は雪が少なかったこともあり、苦情は特段なかった。

民生費　除雪サービス事業　355 万円

Q：太美地区は作業従事者が少なくて大変と聞く。改善状況は。

A：太美地区は民間事業者に委託を行うことで対応。なお、当別地区はシルバー人材センターに依頼している。



「ページの読みやすさ」について、アンケートにご協力ください。